

1. 科目名（単位数）	中国の文化と言語Ⅱ (2 単位)								
2. 授業担当教員	張 岩	3. 科目番号	GECM1314 GECM1324						
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ学習等	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>「中国の文化と言語Ⅰ」の学習を基礎に、中国人びとの暮らし、伝統文化、風俗習慣を盛り込んだ教材を精読する。簡単な日常会話と文型を学び、生きた中国語会話の体験学習を必要に応じ適宜おこなう場合もある。例えば、ビデオを用いて、中国の大学生活や庶民の暮らしを紹介するなどはその一例である。これらのことを通して、日本に身を置くわたしたちの暮らしや考え方と比べてみる。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の入門から初級につながる会話を聞き取ることができ、話せることができるようにする。 2. 中国語で書かれた、ある程度まとまった文章を理解できる。 3. 中国語の表現から、中国語話者のものの見方、考え方、価値観を読み取ることができる。 4. 3を通して中国の文化、社会、歴史的背景について理解を深めることができる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業中の口頭発表：随時、ディスカッション後（授業に対しての理解を確認する、個人の見解を述べて、皆で考える）。</p> <p>授業中及び授業後のドリル：一課毎（勉強した内容を振り返って、理解を強化する）。</p> <p>レポート：1～2回（映画などを見て考えよう。命題。800～1200文字）。</p> <p>小テスト、期末まとめドリル（採点あり）：学期中、期末（学習内容を復習し、どれくらい習得したのかを確かめる）。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 陳淑梅・劉光赤著『しゃべっていいとも中国語（中西君と一緒に中国へ行こう）改訂版』朝日出版社（2024年）。</p> <p>（履修にあたって、教科書は必ず用意すること）。</p> <p>【参考書】（任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中国語辞書 ○瀬戸口 律子著『完全マスター中国語の文法 改訂版』。 ○竹内 実著『北京』芸文春秋社。 ○沈潔 著『地域福祉と福祉NPOの日中比較研究』日本橋報社。 ○その他、インターネットなど。 								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準（学習目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の入門から初級につながる会話を聞き取ることができ、話せることができたか。 2. 中国語で書かれた、ある程度まとまった文章を理解できただか。 3. 中国語の表現から、中国語話者のものの見方、考え方、価値観を読み取ることができたか。 4. 3を通して中国の文化、社会、歴史的背景について理解を深めることができたか。 <p>○評定の方法</p> <p>事前学習・事後学習の状況も含め、授業への参加度、小テスト、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的な参加</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的な参加	総合点の 30%	2. 小テスト	総合点の 40%	3. 課題レポート	総合点の 30%
1. 授業への積極的な参加	総合点の 30%								
2. 小テスト	総合点の 40%								
3. 課題レポート	総合点の 30%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>現在の中国では、社会福祉をはじめ、多くの社会問題を抱えており、日本に比べて遅れている部分もあると思われます。その原因はさまざまだと思いますが、その根底にある中国の歴史、伝統、国家体制、社会の仕組みなどを理解する必要があると思います。近年、著しい経済発展や社会制度の改善により、日本とともに福祉を語る日も近いでしょう。そのときには、習い覚えた中国語でコミュニケーションの糸口を開くことができることを望んでいます。</p>								
13. オフィスアワー	授業時間の前後に設ける								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	①「中国の文化と言語Ⅰ」の「まとめドリル」を講評、「中国の文化と言語Ⅰ」のポイント復習 ②教科書第9課「道をたずねる」 (動詞“在”、前置詞“从”“往”)	事前学習	予習：教科書 pp. 44～46（文法ポイントを理解する、練習問題を解く、本文を訳してみる、CDを聴いて発音をしてみる）。						
		事後学習	復習：復習・教科書第9課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、発音練習をする）。教科書 pp. 48-49 ドリル。						
第2回	教科書第9課 教科書 pp. 48～49 ドリルの答え合わせ 教科書第10課「ショッピングをする」 (数のいい方、形容詞が述語になる文)	事前学習	予習：教科書 pp. 50～51（文法ポイントを理解する、練習問題を解く、CDを聴いて発音をしてみる）。						
		事後学習	復習：教科書第10課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる）。						

第3回	教科書第 10 課 pp. 52~53 ②教科書 pp. 54~55 ドリル	事前学習	教科書 pp. 52、CD を聴いて発音をしてみる。 第 10 課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第 11 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。
第4回	教科書第 11 課「おしゃべりをする」 (年月日、曜日のいい方、年齢のいい方)	事前学習	予習：教科書 pp. 56~57 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、CD を聴いて発音をしてみる)。
		事後学習	復習：教科書第 11 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめ）。
第5回	教科書第 11 課 pp. 58~59 ②教科書 pp. 60~61 ドリル ③映画「こころの湯」のその時代背景（資料配布）	事前学習	教科書 p. 58、CD を聴いて発音をしてみる。第 11 課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第 11 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。 映画「こころの湯」について、資料を読んで調べる（インターネット、図書館など）。
第6回	映画：「こころの湯」鑑賞、レポート課題を配布	事前学習	映画「こころの湯」とその時代背景（資料を読む）。
		事後学習	映画の内容をノートにまとめる。
第7回	教科書第 12 課「料理を注文する」 (量詞、動詞の重ね型) ②ディスカッション、「こころの湯」レポート設題について	事前学習	予習：教科書 pp. 62~64 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、本文を訳してみる、CD を聴いて発音をしてみる)。 配布した資料やノート、調べた内容を用意。
		事後学習	復習：教科書第 12 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、発音練習をする）。 ディスカッションの内容をノートにまとめる、レポートの主旨を決める、レポートを書く。
第8回	教科書第 12 課 ②教科書 pp. 66~67 ドリル ③教科書第 13 課「サッカーのチケットを買う」 (時刻のいい方、文末の“了”)	事前学習	予習：教科書 pp. 68~69 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、CD を聴いて発音をしてみる)。
		事後学習	復習：教科書第 13 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。
第9回	教科書第 13 課 pp. 70~71 ②教科書 pp. 72~73 ドリル	事前学習	教科書 p. 70、CD を聴いて発音をしてみる、第 13 課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第 13 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。
第10回	教科書第 14 課「マッサージ」 (時間の長さのいい方、完了を示す“了”) ②ビデオ：中国いろいろ レポート提出	事前学習	予習：教科書 pp. 74~76 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、本文を訳してみる、CD を聴いて発音をしてみる)。 レポートを用意。
		事後学習	復習：教科書第 14 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、発音練習をする）。教科書 pp. 78~79 ドリル。
第11回	教科書第 14 課 ②教科書 pp. 78~79 ドリルの答え合わせ ③教科書第 15 課「インターネットカフェ」 (前置詞“给”、助動詞“可以”“能”)	事前学習	予習：教科書 pp. 80~81 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、CD を聴いて発音をしてみる)。
		事後学習	復習：教科書第 15 課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。

第12回	①教科書第15課 pp.82~83 ②教科書 pp.84~85 ドリル	事前学習	教科書 p. 82、CDを聴いて発音をしてみる、第15課の本文を訳してみよう。
		事後学習	復習：教科書第15課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。
第13回	教科書第16課「電話をかける」 (動詞の進行態、助動詞“会”)	事前学習	予習：教科書 pp.86~88 (文法ポイントを理解する、練習問題を解く、本文を訳してみる、CDを聴いて発音をしてみる)。
		事後学習	復習：教科書第16課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容をまとめて、発音練習をする）。教科書 pp. 90~91 ドリル。
第14回	教科書第16課 ②教科書 pp.90~91 ドリルの答え合わせ ③9~16課復習練習問題	事前学習	ノート、教科書、プリントを整理して用意。
		事後学習	復習：教科書第16課の内容（ノート、教科書：授業でノートにメモした内容や、授業で勉強した教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめ）。 総復習：9~16課の授業でノートにメモした内容や、教科書の内容と教科書のドリルで間違えたところをまとめる、9~16課復習練習問題を覚える。
第15回	映像で復習 (DVD) 期末まとめドリル (採点あり) (9~16課)	事前学習	ノート、教科書、プリントを整理して用意。
		事後学習	後日配布する「期末まとめドリルの解答例」で間違えた所を再学習する。